



目次

- ◆事務局からのお知らせなど 1
 - eBird に IBA/ KBA の情報が統合されました 1

- キャンペーン「eBird でバードウォッチングウィークを楽しもう」 2
- 連携団体(支部等)向け卸販売をご利用ください 2
- クラウドファンディング達成御礼 3
- 会員数 3

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■eBird に IBA/ KBA の情報が統合されました

eBird (イーバード) は、コーネル大学鳥類学研究室 (Cornell Lab of Ornithology) が運営する、世界最大の野鳥観察データベースです。世界各地から 70 万人以上の利用者が、野鳥観察情報を投稿しており、そのデータは鳥類の科学研究や保全に役立っています。このたび、バードライフインターナショナルとコーネル大学鳥類学研究室の協力により、IBA (重要野鳥生息地) /KBA (生物多様性重要地域) の情報が eBird に加わりました。

eBird の「検索」タブの、「地域の検索」の下にある「バードライフの IBA/KBA」をクリックし、IBA の名称を英語 (*) で入力すると、そこで観察された種や個体数の集計が表示されます。また、観察結果を eBird に投稿するとき、その場所 (ホットスポット) が IBA/KBA に含まれる場合は場所の名称の後に「JP XX (番号)」と IBA の番号が表示されます。

この新しい機能を活用することで、既存の IBA の鳥類個体数のモニタリングや、IBA の基準を満たす新たなサイトの選定に役立てることが出来ます。連携団体の皆さまには、ぜひ、IBA での野鳥観察情報を eBird に投稿していただきますよう、お願いいたします。

* IBA の英語表記はこちら

https://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/iba/iba_list_en/

* IBA (重要野鳥生息地) についてはこちら

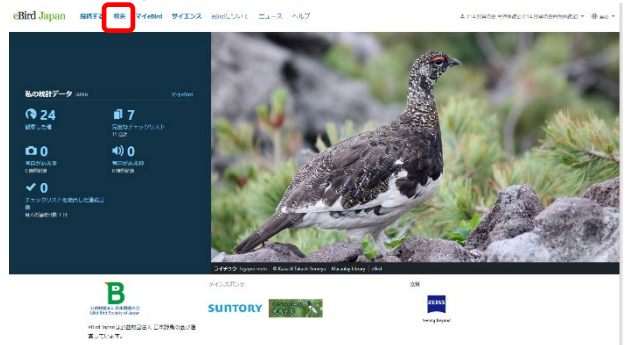
<https://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/iba/>

* eBird の詳細はこちら

<https://www.wbsj.org/activity/conservation/ebird/>

< eBird での IBA の検索方法 >

1. eBird Japan ポータルサイトから「検索」をクリック



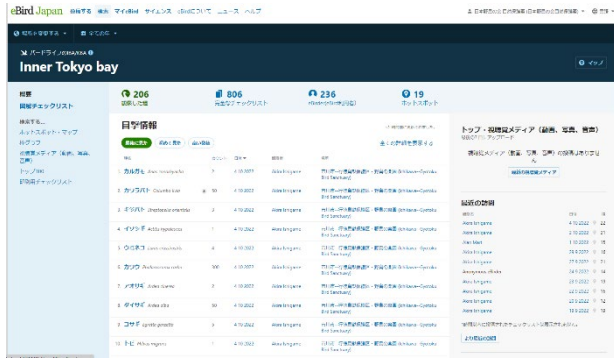
2. 「地域の検索」の下に「バードライフの IBA/KBA」をクリック



3. IBA の名称を英語 (*) で入力



4. そのサイトで観察された種と個体数の集計が表示される。



(自然保護室／岡本裕子)

■キャンペーン「eBird でバードウォッチングウィークを楽しもう」

2021年11月にeBirdの日本語ポータル「eBird Japan」を開設し、その利用者は現在4100人を超えました。eBirdへの国内の野鳥観察記録が充実することで、そのデータを活用した調査研究や保全活動が可能になります。財団事務局では、より多くの方にeBirdを利用いただけるよう、11月1～7日のバードウォッチングウィークに、キャンペーンを実施します。

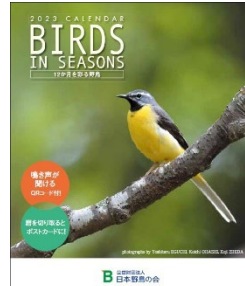
【キャンペーン「eBirdでバードウォッチングウィークを楽しもう！」の概要】

- 期間：2022年11月1～7日（バードウォッチングウィーク）
- 参加方法：期間中いつでも、好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥を「eBird Japan <https://ebird.org/japan/home>」またはアプリ「eBirdモバイル」から投稿してください。
- 参加賞：期間中にチェックリストを投稿された方のうち、
 - ①サントリー特別賞 観察対象種のカモ3種（マガモ、コガモ、オナガガモ）をすべて観察し、投稿した方10人（該当者多数の場合は抽選）に、サントリーホールディングス株式会社提供の「ステンレス製真空タンブラー『フクロウ』（数内正幸イラスト）」をさしあげます。



協力：数内正幸美術館

②日本野鳥の会賞 7日間毎日チェックリストを投稿した方10人（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「卓上カレンダーと里山の野鳥リングメモ」をさしあげます。



●キャンペーンの詳細は、ホームページをご覧ください。

<https://www.wbsj.org/activity/event/campaign-ebird-20221012/>

本件について、何かご不明な点やご質問がありましたら、下記担当までお知らせください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

●ご連絡先：自然保護室 担当 葉山/岡本
 電話：03-5436-2633
 メール：ebirdjapan@wbsj.org

(自然保護室／岡本裕子)

■普及室より

■連携団体(支部等)向け卸販売をご利用ください

通販カタログ「バードショップ」2022秋冬号が発行となりました。会員の皆さまには、会誌「野鳥」9・10月号に同封してお届けしております。販売事業ご担当の皆さまには、連携団体（支部等）向け卸販売のご案内と合わせてお届けします。販売を通じて、バードウォッチングや自然保護の輪が広まるとともに、販売収益が支部活動の一助となれば幸いです。ぜひご利用ください。

※「連携団体（支部等）向け卸販売のご案内」発送が遅れてしまい、申し訳ございませんでした。

※昨今の原材料高騰等の影響を受け、カタログ有効期間中でも、販売価格が改定される場合がございます。この場合、カタログ有効期間内でも改定後の販売価格となりますので、予めご了承ください。

●秋冬号のオススメ新商品

◎2023年オリジナルカレンダー販売開始

今年も「ワイルドバード・カレンダー」、「バーズ・イン・シーズンズ 卓上カレンダー」、「しあわせことりカレンダー」の3種を販売します。それぞれ、自然や野鳥の魅力にあふれる写真を厳選しました。お部屋の壁や机にカレンダーがあると便利です。

◎快適なバードウォッチングのために
 おすすめの双眼鏡や望遠鏡、野鳥図鑑はもちろんのこと、さらに冬のバードウォッチングにかかせない防寒具として新作のオリジナル帽子や高性能手袋などをご紹介します。

◎「B」マーク入りロイヤリティ商品！

ロイヤリティ商品とは、当会で商標登録しているロゴ「B」マークを付けた商品を、様々なメーカーが企画し、販売します。その売り上げの一部が日本野鳥の会に支払われる仕組みになっています。カタログに掲載されている商品はバードショップでもお買い求めいただけます。

●支部卸販売のご注文、お問い合わせ

普及室 販売出版グループまでお願いいたします。
 FAX: 03-5436-2636 Email: r-hanbai@wbsj.org

(普及室/森谷 机珠瑠)

■共生推進企画室より

■クラウドファンディング達成御礼

8/29~9/30 にかけて、カンムリウミスズメ保護活動を拡大するため、クラウドファンディングによる資金調達に挑戦しました。

支部・連携団体の皆様には温かな応援や様々なご協力をいただき、大変ありがとうございました。

おかげさまで、終了日 2 日前の 9/28(水)に当初の目標金額 350 万円を達成することができ、急きょネクストゴールを 400 万円に設定して挑戦を続けて、最終的に 9/30(金)23 時までに 440 万円ものご寄付を賜りました。

この場を借りて、ご厚志に深く御礼申し上げます。

●クラウドファンディング達成報告

目標達成度： 125%

訪問者数： 7,049 人

支援者数： 480 人(重複あり)

支援金額： 4,400,000 円

▼クラウドファンディング公開 URL

<https://readyfor.jp/projects/wbsj202208/>

▼自然保護室室長より御礼のことば

<https://readyfor.jp/projects/wbsj202208/announcements/234620>

▼支援者の皆様からの応援コメント

<https://readyfor.jp/projects/wbsj202208/comments>

今後も、保護活動拡大のため様々な取り組みに挑戦してまいりますので、引き続きご協力を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【クラウドファンディングのお問い合わせ】

共生推進企画室までお願いいたします。

kifu@wbsj.org

(共生推進企画室/塚田文)

■総務室より

■会員数

10月3日時点の会員数は 33,472 人で、先月と比べ 23 人減少しました。

9 月の入会・退会者数(表1)をみますと、入会者数は退会者数より 13 人多くなっています。

9 月 1 日付の入会者数は 137 人で、前年同月の入会者数 111 人と比べ 26 人増加しました。

また、9 月末日付の退会者数は 124 人で、前年同月の退会者数 149 人と比べ 25 人減少しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表1. 9 月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	5 人	6 人
総合会員(おおぞら会員)	25 人	37 人
本部型会員(青い鳥会員)	22 人	24 人
支部型会員(赤い鳥会員)	53 人	39 人
家族会員	32 人	18 人
合計	137 人	124 人
年度累計	1,101 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

※上記集計は速報値になります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数(10月3日時点)

都道府県	会員数	前月比
北海道	1,610 人	-1 人
青森県	227 人	0 人
岩手県	342 人	-2 人
宮城県	528 人	-4 人
秋田県	241 人	0 人
山形県	225 人	0 人
福島県	520 人	-3 人
茨城県	820 人	-5 人
栃木県	771 人	3 人
群馬県	587 人	0 人
埼玉県	1,965 人	-2 人
千葉県	1,473 人	-2 人
東京都	4,621 人	-3 人
神奈川県	3,124 人	-6 人
新潟県	364 人	0 人
富山県	194 人	-2 人
石川県	269 人	0 人
福井県	216 人	-1 人
山梨県	252 人	0 人
長野県	823 人	1 人

岐阜県	476 人	-4 人	宮城県支部	495 人	-3 人
静岡県	1,218 人	6 人	ふくしま	136 人	-1 人
愛知県	1,548 人	-3 人	郡山支部	145 人	0 人
三重県	429 人	3 人	白河支部	23 人	0 人
滋賀県	298 人	-1 人	会津支部	54 人	0 人
京都府	799 人	2 人	奥会津連合	5 人	0 人
大阪府	1,889 人	-1 人	いわき支部	88 人	-1 人
兵庫県	1,241 人	7 人	福島県相双支部	16 人	0 人
奈良県	479 人	3 人	南相馬	16 人	-1 人
和歌山県	209 人	-3 人	茨城県	720 人	-4 人
鳥取県	222 人	1 人	栃木県支部	761 人	1 人
島根県	205 人	2 人	群馬	504 人	0 人
岡山県	549 人	-2 人	吾妻	45 人	0 人
広島県	569 人	-2 人	埼玉	1,463 人	-2 人
山口県	329 人	0 人	千葉県	903 人	6 人
徳島県	325 人	-1 人	東京	2,608 人	1 人
香川県	194 人	1 人	奥多摩支部	745 人	0 人
愛媛県	338 人	0 人	神奈川支部	2,067 人	-6 人
高知県	109 人	0 人	新潟県	273 人	0 人
福岡県	1,191 人	0 人	佐渡支部	35 人	0 人
佐賀県	202 人	1 人	富山	174 人	-2 人
長崎県	213 人	1 人	石川	245 人	0 人
熊本県	354 人	0 人	福井県	214 人	-1 人
大分県	214 人	0 人	長野支部	407 人	-2 人
宮崎県	231 人	-1 人	軽井沢支部	160 人	0 人
鹿児島県	334 人	2 人	諏訪支部	229 人	2 人
沖縄県	86 人	-1 人	木曾支部	20 人	0 人
海外	9 人	0 人	伊那谷支部	66 人	0 人
不明	40 人	-6 人	甲府支部	179 人	-2 人
全国	33,472 人	-23 人	富士山麓支部	54 人	0 人
			東富士	62 人	-1 人
			沼津支部	130 人	-1 人
			南富士支部	219 人	1 人
			南伊豆	41 人	0 人
			静岡支部	315 人	0 人
			遠江	363 人	0 人
			愛知県支部	1,170 人	0 人
			岐阜	458 人	-4 人
			三重	370 人	4 人
			奈良支部	411 人	-2 人
			和歌山県支部	215 人	-3 人
			滋賀	293 人	-1 人
			京都支部	741 人	2 人
			大阪支部	1,735 人	2 人
			ひょうご	952 人	3 人
			鳥取県支部	236 人	1 人
			島根県支部	197 人	2 人
			岡山県支部	518 人	-2 人
			広島県支部	497 人	-1 人
			山口県支部	302 人	0 人
			香川県支部	154 人	1 人
			徳島県支部	348 人	0 人
			高知支部	97 人	0 人
			愛媛	310 人	0 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（10月3日時点）

支部	会員数	前月比
オホーツク支部	236 人	-1 人
根室支部	75 人	0 人
釧路支部	140 人	0 人
十勝支部	170 人	0 人
旭川支部	77 人	0 人
滝川支部	40 人	0 人
道北支部	26 人	0 人
江別支部	22 人	0 人
札幌支部	294 人	-1 人
小樽支部	58 人	0 人
苫小牧支部	162 人	0 人
室蘭支部	127 人	0 人
道南檜山	67 人	0 人
青森県支部	118 人	0 人
弘前支部	111 人	0 人
秋田県支部	232 人	0 人
山形県支部	208 人	1 人
宮古支部	70 人	-1 人
もりおか	154 人	1 人
北上支部	92 人	-2 人

北九州支部	242 人	-1 人
福岡支部	527 人	1 人
筑豊支部	217 人	0 人
筑後支部	150 人	0 人
佐賀県支部	250 人	2 人
長崎県支部	202 人	-1 人
熊本県支部	346 人	1 人
大分県支部	203 人	0 人
宮崎県支部	220 人	-1 人
かごしま県支部	316 人	2 人
やんばる支部	48 人	-2 人
西表支部	45 人	0 人
	28,229 人	-16 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。

これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／三浦岳志）

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。

現在、東京周辺ではキンモクセイが2回目の開花をしたのか、再び香っています。また、緑地や海辺では、移動中のヒヨドリが賑やかになって来ました。

今冬は、気温が平年並みか低いとの予報も聞かれます。どうぞ暖かくしてお過ごしください。

次号もどうぞよろしくお願いたします。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2022年10月号・通巻249号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2022年10月25日

◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/原元奈津子/萩原洋平
〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org